

論点等説明シート

事業名

鉄道駅総合改善事業

担当部局庁

鉄道局

事業についての論点等

○事業の背景

鉄道駅は、「街」の中核的施設として、交通の結節拠点としての機能を有しているのみならず、駅周辺の施設と一体となって街のにぎわいを形成し、地域の活性化を図る上で極めて重要な役割を担うことが期待されている。

しかしながら、特に都市圏における「街の中心となる駅」については、旧来の狭隘な市街地の中に立地している等のため、ホーム・コンコース等のスペースの不足、エレベーターやエスカレーターの未設置、動線の迂回、駅前広場の不足、開かずの踏切による街の分断等、利用者の利便性、安全性、地域活性化の観点から問題を抱えている駅が多く存在している。

このような問題のある駅の改善については、一般的に、駅構内のスペース拡大や機能強化を伴う大規模な改良を行う必要があること、地域のまちづくり計画と密接に関連すること等から、鉄道事業者単独では解決することが難しく、かつ、まちづくりとの連携など、公的部門と連携して取り組んでいく必要がある。

このため、本事業により、都市側の事業と一体的に行う鉄道駅の総合的な改善について補助を行い、その推進を図ってきたところであるが、今後も継続して事業を行っていく必要があること、また、限られた予算の中で効果的・効率的に実施していく必要があることから、「公開プロセス」の対象としたもの。

○論点

- ・対象箇所の考え方や整備目標等が明確になっているか。
- ・事業のより効果的・効率的な実施のため、対象の重点化等を行う余地がないか。